

SBC 初の紅白戦

ヤング
チーム 4 - 2 アダルト
チーム

平成27年11月3日、田吉第2グラウンドにて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）の紅白戦が行われた。

SBC初の紅白戦は、総勢19名（助っ人2人含む）、アダルトチーム10名・ヤングチーム9名に分かれての試合となった。

試合は、両チームエース床島と富永の投げ合いから始まり、1歩も引かぬ投手戦となった。規定の7回で決着がつかず、迎えた延長8回

表、押川の2ランホームランで勝ち越すと、そのウラを大下が0点で締め、ヤングチームの勝利となった。

3打点の活躍 押川

この男に「ブランク」という言葉は当てはまらないのかもしれない。今季途中で加入した新人がこの日の試合に終止符を打った。

ケガの関係で4ヶ月ぶりの実戦となった押川であったが、「休養十分！」と言わんばかりに初回の先制打、そして8回の2ランホームランと3打点の活躍であった。

逆襲のタイムリーヒット 大野

大野もまた今季途中でSBCに加入したメンバーの一人だ。アダルトチームの4番大野に6回のウラ、3塁にランナーがいるチャンスの場合で打席が回ってきた。

そして、綺麗なセンター返しヒットを打ち、逆襲のタイムリーヒットとなった。この得点によりこの回、一時は同点に追いついた。

当たりの日 河野（哲）

押川、大野以上に当たりに当たったのが、河野（哲）だ。

相手投手から受けた死球はもちろん、守備においては、高々と上がったフライを後頭部を受ける秘技を我々に見せ付けた。

だが、この男は珍プレーだけでは終わらなかつた。ライナー性の強い打球を華麗に捕る好プレーの美技も我々に魅せ付けた。この日のMVPは彼と言っても過言ではないだろう。

【今回の総喝】

SBC初の紅白戦であったが、誰がこんなにも好ゲームになることを予想したであろうか。打つ人が打ち、抑える人が抑えた今年を締めくくるには最高の内容の試合であった。

【試合結果】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
ヤングチーム	1	0	0	1	0	0	0	2	4
アダルトチーム	0	0	0	0	0	2	0	0	2

【ヤングチーム】

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	遊	石神	4	2	0	0	2
2	投	富永	4	1	0	1	2
3	一	押川	4	2	3	0	2
4	三	西田(宏)	4	0	0	0	0
5	捕	大下	4	3	1	0	3
6	中	秋山	4	0	0	1	1
7	二	河野(裕)	3	0	0	0	0
8	左	中尾	3	0	0	1	1
9	右	西井	3	2	0	0	2

【アダルトチーム】

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	一	日高	4	1	0	0	1
2	捕	河野(章)	4	1	0	0	1
3	右	工藤	4	1	0	0	1
4	二	大野	4	1	1	0	1
5	遊	助っ人1	4	1	0	0	1
6	右	西田(佑)	4	1	1	0	1
7	中	助っ人2	4	1	0	1	1
8	DH	河野(哲)	3	0	0	1	1
9	三	木原	3	0	0	2	2
10	投	床島	3	1	0	0	1

【投手成績】

【ヤングチーム】

氏名	投球回	奪三振	失点
富永	6回	3	2
石神	1回	0	0
大下	1回	0	0

【アダルトチーム】

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	4回	2	2
木原	2回	0	0
工藤	1回	0	0
助っ人2	1回	0	2

SBCメンバー募集中!

○次回の試合は、未定となっております。
☆ これからも皆様の応援よろしくお願い致します ☆

(記者: 西田宏伸) 【第9回 SBC速報】